



エムティーアイ

2025年9月期 1Q決算説明会

2025年2月13日（木）

証券コード：9438

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

目次

1Q決算概要 … P2

決算ハイライト
連結PL
連結販管費内訳
上期・通期業績予想の修正
セグメント別業績

2Q以降の取り組み … P19

FY2025基本方針と重点課題
クラウド薬歴
母子手帳アプリ+子育てDX
学校DX事業

付属資料 …P27

中長期的な収益イメージ
連結BS
連結PL推移
連結販管費推移
セグメント別業績
FY2025業績予想
主なヘルスケアサービス一覧
ヘルスケアサービス全体像
クラウド薬歴
母子手帳アプリ+子育てDX
学校DX事業

1Q決算概要

2025年9月期 第1四半期の決算概要について、ご説明します。

決算ハイライト

1 1Q業績

前年同期比：売上高増収、営業利益増益

		前年同期比		当初の上期業績予想 に対する進捗率
売上高：	7,271百万円	+646百万円	+9.8%	51.9%
営業利益：	718百万円	+282百万円	+65.0%	53.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益：	589百万円	△41百万円	△6.6%	80.7%

2 業績予想（純利益）を上方修正

		上期業績予想	通期業績予想
売上高：	据え置き	14,000百万円	28,500百万円
営業利益：	据え置き	1,350百万円	3,000百万円
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益：	上方修正	1,320百万円	2,190百万円

※業績予想値（レンジ）の中間値を記載しています。

3 1Q取り組み実績

- ・ヘルスケア事業： クラウド薬歴が好調（導入店舗数は過去最高更新）
- ・学校DX事業： 2025年4月導入の新規契約は順調

決算ハイライトです。

- ・第1四半期は、前年同期比増収増益となりました。
- ・上期の期初予想に対しては、売上高から経常利益までは、予想の範囲内で推移しています。
- ・当期純利益については、上振れて推移しています。
- ・業績予想については、1月31日に発表の通り、上期および通期業績予想の純利益のみ、上方修正しています。詳細は後ほどご説明します。

第1四半期の取り組みとしては、

- ・ヘルスケア事業については、クラウド薬歴の導入薬局数が引き続き好調です。
- ・学校DX事業については、今年4月導入に向けた新規獲得が順調です。
- ・それぞれの具体的な取り組み内容については、後ほどご説明します。

連結PL

売上高：増収、 営業利益：増益

(単位：百万円)	FY2024 1Q	FY2025 1Q	前年同期比		
			金額	増減率	
売上高	6,625	7,271	+646	+9.8%	クラウド薬歴、学校DX、法人向けDX支援事業の好調
売上原価	1,788	1,860	+72	+4.1%	
原価率	27.0%	25.6%			
売上総利益	4,836	5,410	+573	+11.9%	
利益率	73.0%	74.4%			
販管費	4,401	4,692	+291	+6.6%	
販管费率	66.4%	64.5%			
営業利益	435	718	+282	+65.0%	
利益率	6.6%	9.9%			
経常利益	792	783	△9	△1.2%	持分法による投資利益の減少（△365百万円） → 昭文社HDで特別利益計上
利益率	12.0%	10.8%			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	630	589	△41	△6.6%	
利益率	9.5%	8.1%			

連結PLです。

- ・売上高は、ヘルスケア事業、学校DX事業、および法人向けDX支援事業における売上伸長により、前年同期比9.8%増の72億7,100万円となりました。
- ・営業利益は、売上高増収効果により、7億1,800万円となりました。
- ・経常利益は、前年同期に比べ、「持分法による投資利益」の計上額が減少したため、7億8,300万円とわずかに減益となりました。
- ・当期純利益は、前年同期比6.6%減少の5億8,900万円となりました。

連結販管費内訳

広告宣伝費：増加

(単位：百万円)	FY2024 1Q	FY2025 1Q	前年同期比	
			金額	増減率
販管費総額	4,401	4,692	+291	+6.6%
広告宣伝費	626	890	+263	+42.0%
人件費	1,818	1,814	△4	△0.3%
支払手数料	709	737	+28	+4.0%
外注費	441	412	△29	△6.7%
減価償却費	318	336	+18	+5.7%
その他	486	501	+15	+3.2%

AdGuard向け販促費の増加

- ・ 販管費の内訳です。
- ・ 販管費全体では、前年同期比6.6%増の46億9,200万円となりました。
- ・ コンテンツ事業における広告宣伝費が増加したためです。
- ・ それ以外は、前年同期比並みとなりました。

■ 上期・通期業績予想の修正

還付消費税等の計上：上期の中間純利益、通期の当期純利益をそれぞれ上方修正

(単位：百万円)	FY2025上期 (期初予想)	FY2025上期 (今回予想)	差異
売上高	14,000	14,000	-
営業利益	1,250~1,450	1,250~1,450	-
経常利益	1,300~1,500	1,300~1,500	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	660~800	1,250~1,390	+590

	FY2025通期 (期初予想)	FY2025通期 (今回予想)	差異
売上高	28,500	28,500	-
営業利益	2,800~3,200	2,800~3,200	-
経常利益	2,900~3,300	2,900~3,300	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,460~1,740	2,050~2,330	+590

Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

・ 中間期、および通期業績予想の修正について ご説明します。

・ 1月31日発表のとおり、上期において、特別利益として「還付消費税等」8億円を計上する見込みです。同時に、「法人税等調整額」2億1,000万円を計上する見込みです。

これらのことにより、当期純利益5億9,000万円の上方向要因となり、上期および通期における純利益の予想値のみ、上方修正しています。

セグメント別業績

コンテンツ事業

- ・コンテンツ事業
- ・エンタメ・ライフ系コンテンツ
- ・セキュリティ系コンテンツ
- ・オリジナルコミック事業



ヘルスケア事業

- ・女性向けヘルスケア事業
- ・子育てDX事業
- ・クラウド薬歴事業
- ・オンライン診療サービス 他



学校DX事業

- ・学校DX事業

BLEND



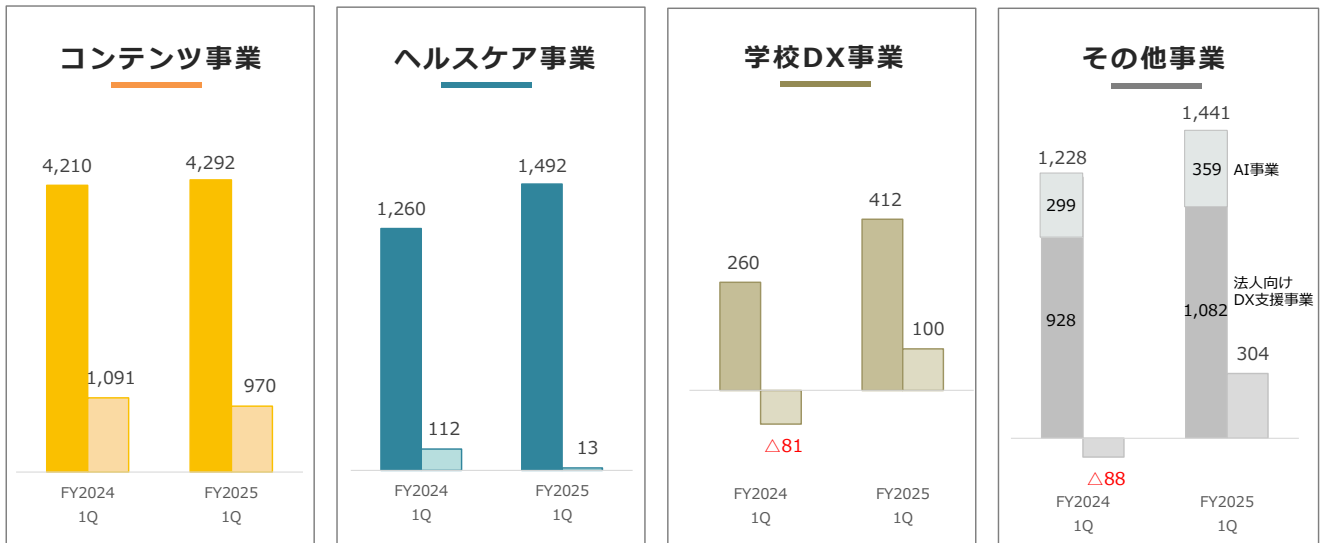
その他事業

- ・AI事業
- ・DX支援事業
- ・法人向けソリューション



続いて、セグメント別業績についてご説明します。

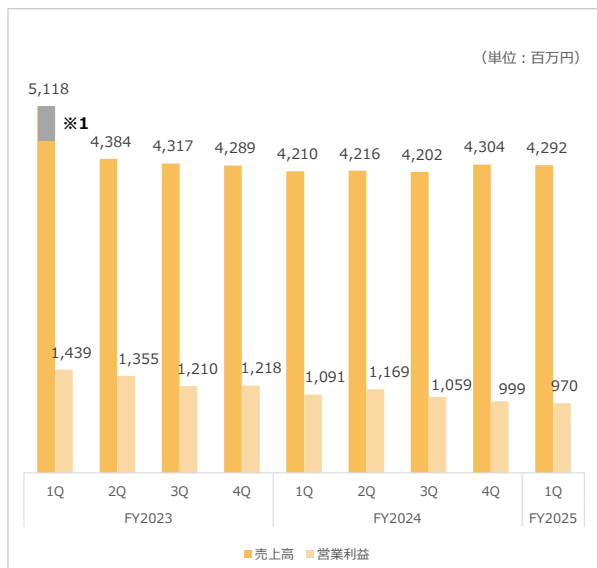
(左軸：売上高、右軸：営業利益、単位：百万円)



前年同期比は、ご覧の通りです。

- ・コンテンツ事業およびヘルスケア事業は、増収減益となりました。
- ・学校DXおよびその他事業は、増収増益となりました。

コンテンツ事業：売上高・営業利益



直前四半期比

売上高横ばい

有料会員数純増

直前四半期比

営業利益横ばい

特殊要因

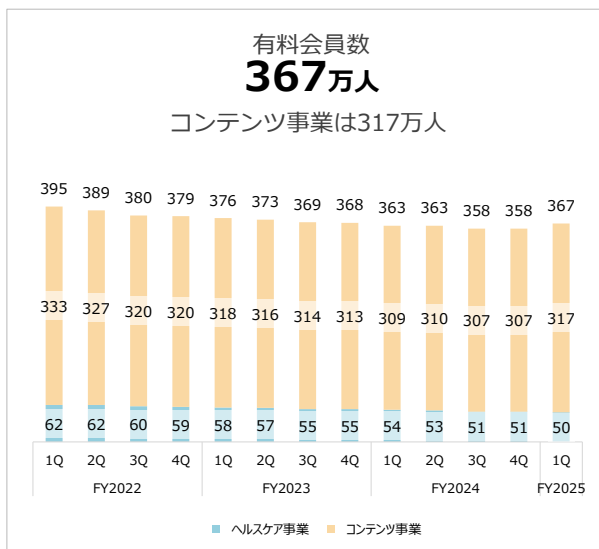
※1：売上高739百万円：
動画配信のスポット売上計上

Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

コンテンツ事業の四半期推移です。

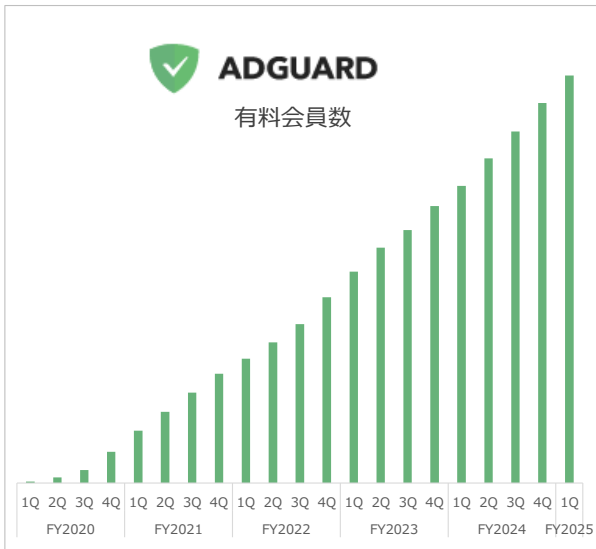
- ・売上高、営業利益は横ばい傾向が続いています。
売上高は42億9,200万円、営業利益は9億700万円となりました。

コンテンツ事業：有料会員数



- ・セキュリティ関連アプリ好調
- ・月額課金事業の買収

- ・コンテンツ事業の有料会員数については、音楽配信企業を買収したことにより、317万人となりました。
- ・ヘルスケア事業会員数も含めると、合計有料会員数は、12月末時点で367万人となりました。



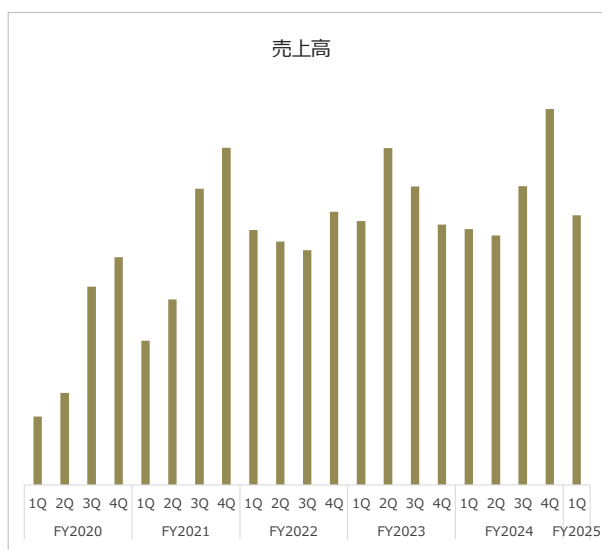
セキュリティ関連アプリ 好調続く

有料会員数 **99万人**

4つの機能

- 広告ブロック
- 追跡ブロック
- 脅威ブロック
- ペアレント機能 (子どもの保護機能)

- ・セキュリティ関連アプリ 『AdGuard』 の新規入会者数は、引き続き 好調に推移しています。
12月末で99万人となりました。



オリジナルコミック事業 安定推移

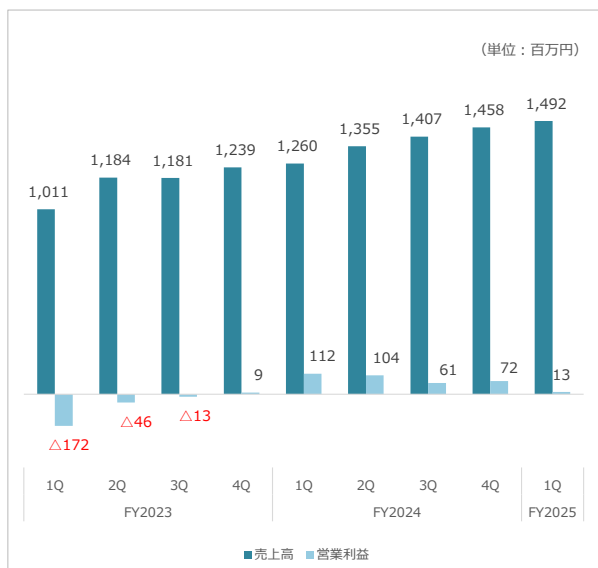
- ・ 作品投入数維持

Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

12

- ・ オリジナルコミック事業は、配信した作品の、ダウンロード数に応じた売上高となっています。
- ・ TVドラマ化効果に伴う変動はありますが、概ね安定推移しています。

ヘルスケア事業：売上高・営業利益



直前四半期比

売上高伸長

- ・クラウド薬歴好調

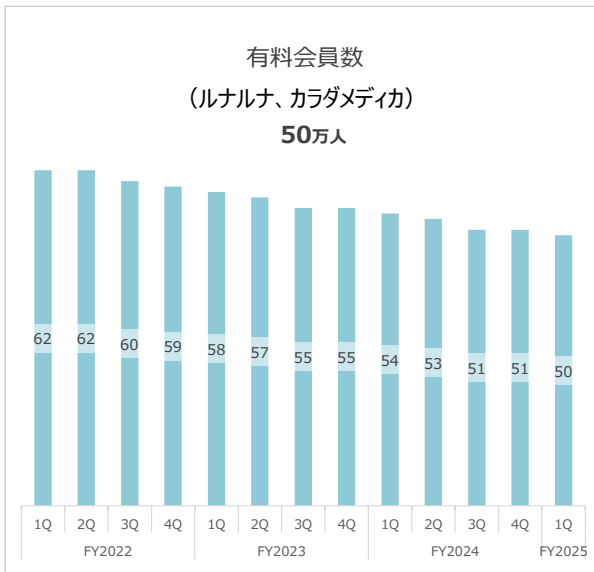
直前四半期比

営業利益減益

- ・薬局向けDXシステムの開発

Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

- ・ヘルスケア事業の四半期推移です。
クラウド薬歴の導入拡大が続いていることから
売上高は着実に積み上がっており、14億9,200万円となりました。
- ・薬局向けのDXシステムに関する開発が続いていることから、
営業利益は、1,200万となりました。

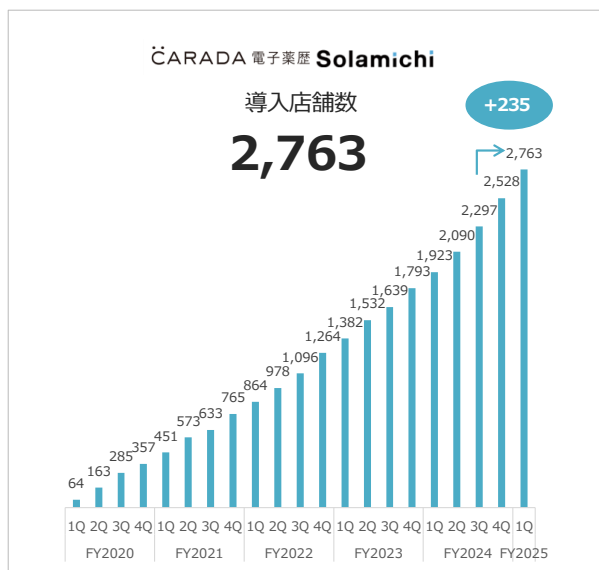


月額コンテンツサービス

有料会員数

直前四半期比横ばい

ヘルスケア事業の有料会員数は、横ばいの50万人となりました。



Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

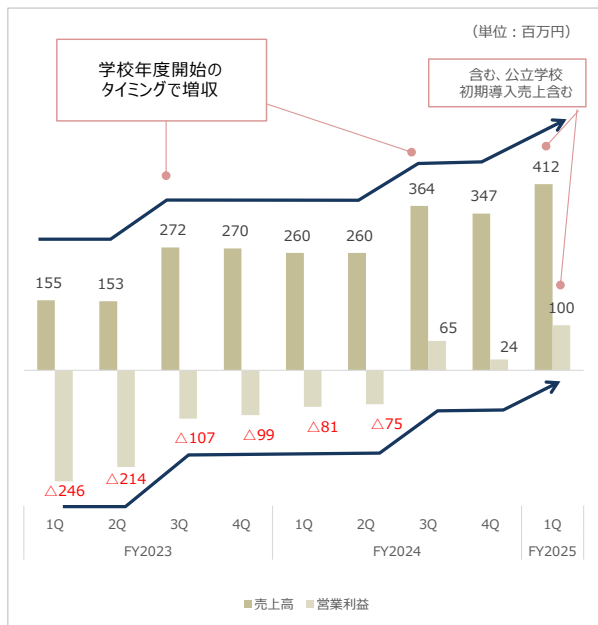
クラウド薬歴

導入店舗数

3四半期連続過去最高

- ・クラウド薬歴の導入薬局数は順調に推移し、累計2,763店舗となりました。
- ・四半期ベースでの新規導入数は235店舗であり、3四半期連続で、過去最高を更新しました。

学校DX事業：売上高・営業利益



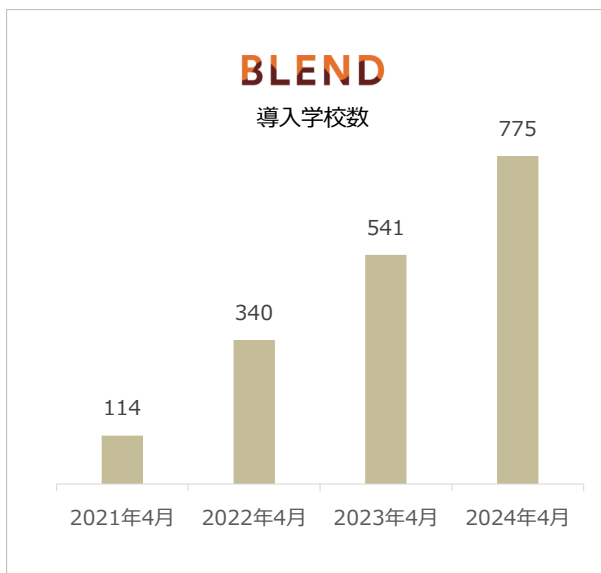
直前四半期比

売上高伸長
公立学校初期導入売上（スポット）

直前四半期比

営業利益増加

- 学校DX事業の売上高は4億1,200万円、営業利益は、1億円となりました。
- 公立学校向け初期導入のスポット売上を計上したことにより、増収増益となりました。



導入学校数 拡大

私立高校シェア **35%**

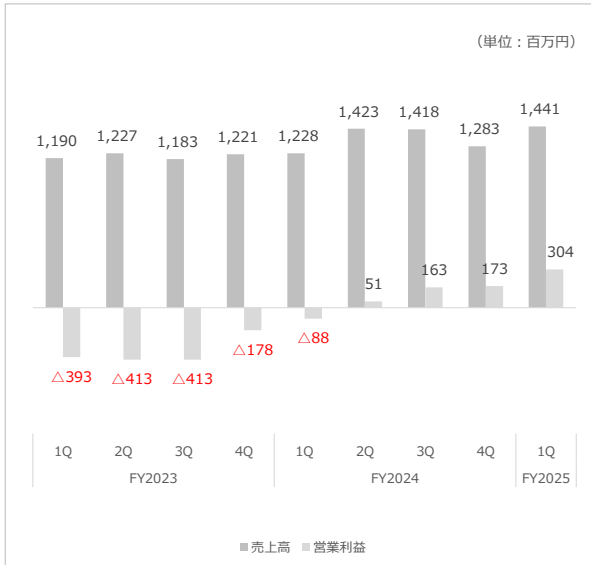
・2025年4月導入の新規契約は順調

Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

17

- ・2024年4月時点の私立高校のシェアは35%です。
- ・2025年4月導入に向けた新規契約は、順調に推移しています。

■ その他事業（法人向けDX支援、AI等）：売上高・営業利益



直前四半期比

営業利益増加

- ・ 法人向けDX支援事業の受注好調

- ・ その他事業では、法人向けDX支援事業の受注が好調です。
売上高は14億4,100万円、営業利益は3億400万円となりました。

以上が、第1四半期の決算概要です。

2Q以降の取り組み

続いて、第2四半期以降の取り組みについてご説明します。

ヘルスケア事業

さらなる売上・利益成長

- ・ 薬局向け：クラウド薬歴事業のさらなる成長
- ・ 自治体向け：子育てDXプラットフォーム戦略推進

学校DX事業

さらなる売上・利益成長

- ・ 私立学校向け：さらなる導入学校数拡大
- ・ 公立学校向け：事業領域拡大

コンテンツ事業

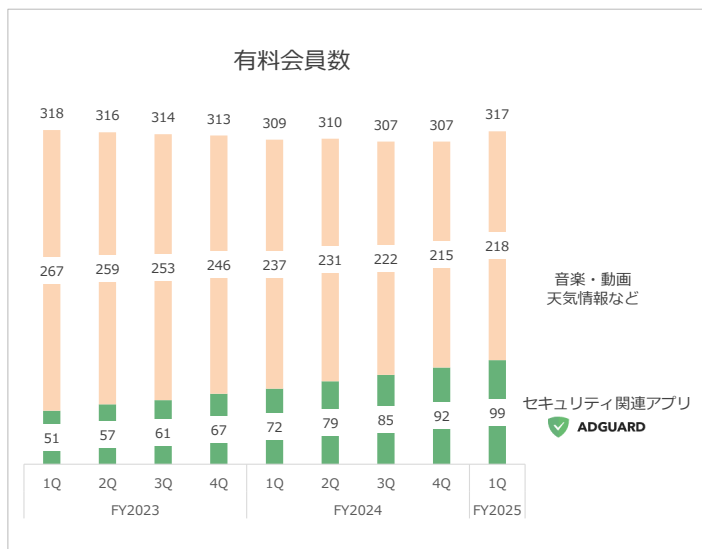
利益確保

- ・ セキュリティ関連アプリ等の成長
- ・ オリジナルコミック事業成長

各セグメントにおいては、各基本方針のもと、ご覧の重点課題に取り組んでいます。

- ・ 特に長期的に注力しているヘルスケア事業において、さらなる売上・利益成長を目指します。
- ・ クラウド薬歴では、導入薬局店舗数の拡大およびサービスの充実を図ります。
- ・ 子育てDXにおいては、プラットフォーム戦略を推進します。
- ・ 学校DX事業においても、さらなる売上・利益成長を目指します。
- ・ 私立学校の導入数の拡大、そして公立学校への導入にも注力し、事業領域を拡大していきます。
- ・ コンテンツ事業については、セキュリティ関連アプリ等の成長により、会員数は横ばいとなりました。今後も利益確保を重視していきます。

コンテンツ事業：



今後の成長が見込める分野に対し
計画的に広告宣伝活動

コンテンツ事業の有料会員数は、
音楽系コンテンツなどエンターテインメントの比率が下がり、
セキュリティ関連の比率が上昇しています。

今後の成長が見込めるコンテンツについては、
引き続き、計画的に広告宣伝活動を実施していきます。

CARADA 電子薬歴 Solamichi



導入数

導入数さらなる拡大へ

- ・中規模調剤薬局向け導入好調
- ・機能開発も強化へ

- 薬剤師が使いやすいUI/UXの実現
- AI自動要約機能搭載

FY2020 FY2021 FY2022 FY2023 FY2024

Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

22

- ・クラウド薬歴事業では、調剤薬局からの引き合いが強い状態が続いています。
- ・前期に引き続き、小規模薬局のみならず、中規模薬局への導入数も好調ですので、機能開発の強化も進めることにより、さらなる導入数拡大に向けて取り組んでいきます。

子会社ファルモが協業推進に向けて第三者割当増資

- ・増資引受先：株式会社メディカルシステムネットワーク
- ・増資金額：500百万円

当社子会社

株式会社ファルモ

PHARUMO

調剤薬局向けICTソリューション
電子お薬手帳、
クラウド型ピッキング監査システム等）他

増資引受先

株式会社メディカルシステムネットワーク



地域薬局事業
医薬品ネットワーク事業
医薬品製造販売事業 他

地域薬局店舗数：455店舗
加盟件数：10,737店舗

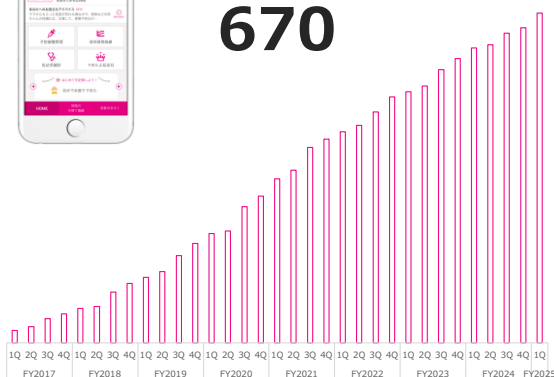
- ・子会社のファルモでは、ピッキングのクラウドシステムやお薬手帳アプリなどを、調剤薬局向けに提供しています。
- ・昨年12月23日に発表のとおり、ファルモにおいて、メディカルシステムネットワーク様を引き受け先とする、5億円の第三者割当増資を実施しました。
- ・同社は、地域薬局事業や、医薬品ネットワーク事業を展開しています。地域薬局は455店舗、加盟店は1万店舗のネットワークがあります。
- ・同社との協業推進によりファルモの事業拡大につなげていきます。

『母子モ』 利用自治体の子育てDXサービス導入は順調



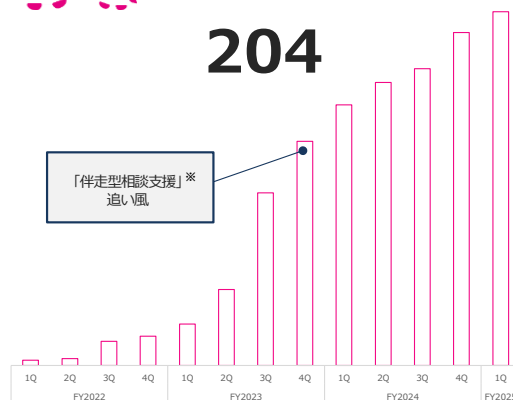
母子手帳アプリ
導入自治体数

670



子育てDXサービス
導入自治体数（延べ）

204



「伴走型相談支援」※
追い風

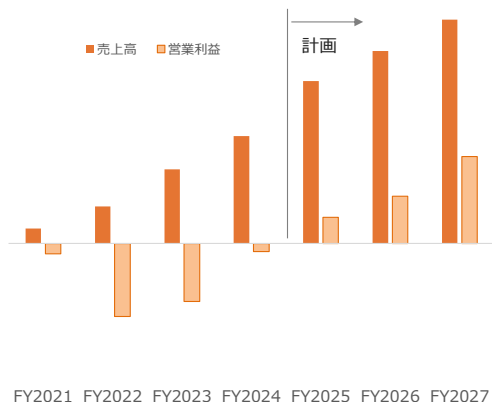
※こども家庭庁による2023年1月開始の政策。

Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

- 子育て事業では、母子手帳アプリの導入数は、12月末時点で670となりました。
- 子育てDXサービスにおいては、延べ204まで拡大しています。

BLEND

中期的な収益イメージ



引き続き導入学校数拡大へ

成長機会

- ・ 2025年4月導入の新規契約は順調
- ・ 政府による都道府県域での校務DX推進

➡ **公立高校：山梨県との契約締結**

差別化

フルクラウド型一括サービス

FY2021 FY2022 FY2023 FY2024 FY2025 FY2026 FY2027

Copyrights (c) 2025 MTI Ltd. All Right Reserved

25

- ・ 学校DX事業における、フルクラウド型校務支援システムに対する導入意欲は、依然高い状態が続いています。
- ・ 私立学校向けについては、今年4月の導入に向けた新規契約が、順調に積み上がっています。
- ・ 公立学校向けについては、政府による都道府県領域での校務DX推進が行われているなかで、昨年までに山梨県教育委員会と県立高等学校へのシステム導入についての契約を締結しています。
- ・ 私立学校のみならず、公立学校への事業領域拡大を図っていきます。

ありがとうございました。



〈お問い合わせ先〉
株式会社エムティーアイ I R室
e-mail:ir@mti.co.jp
<https://ir.mti.co.jp>

説明は以上になります。
ありがとうございました。